

パネルディスカッション4

「ビッグデータ・疫学データからみる消化器疾患の現状と展望」

司会 久松 理一（杏林大学医学部消化器内科学）

日浅 陽一（愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学）

本パネルディスカッションでは、ビッグデータ・疫学データ・リアルワールドデータに加え、ゲノム・オミックス情報の統合的活用を通じて、消化器疾患の現状と将来展望を議論する。次世代医療基盤法の整備により大規模データの利活用が進む一方で、レジストリ構築、データ品質、解析手法、論文化など多くの課題も残されている。

本セッションでは、全国疫学調査や多施設共同研究の成果に加え、リアルワールドデータおよびレジストリ構築の取り組み、解析手法の工夫、ネガティブデータや途中経過の報告も広く歓迎する。また、疾患構造や治療実態の変化、予後予測、層別化医療に関する研究など、多様な視点からの発表を期待したい。

ビッグデータ解析の現状と課題を共有するとともに、実臨床にどのように還元していくかについて、多角的に議論し、今後の診療・研究の方向性を展望する。